

研究課題名 「精神神経疾患患者死後脳の組織上における
タンパク動態に関する基礎医学的研究」

承認番号 2004-0195 **に関する情報公開**

1. 研究の対象

当該施設（東京都立松沢病院精神科）にて、死亡し病理解剖をされ、脳の研究使用の遺族が同意された方

2. 研究目的・方法

精神疾患の病因に関してはいまだ不明なことが多くあります。今研究の目的は、疾患の死後脳において免疫組織学的技法を含めた組織病理学的検討をおこない、精神疾患の病態を追求するものです。他の疾患でも病理学が病態把握に決定的な意味を持つと同様に、この研究の情報は精神疾患の病態を明らかにする意味で重要です。またこの情報は、分子生物学的な研究にも応用され、さらなる病態把握に役立つことが予想されます。最終的には精神疾患の病態把握から治療へ結びつけたいと考えています。すでに東京都立松沢病院にて採取保管されている精神疾患死後脳の組織を用いて脳組織上におけるアセチルコリン、ドーパミン、セロトニン等の神経伝達物質およびその代謝酵素、受容体、修飾物質等の動態を検索することを計画しています。また、シナプス構成蛋白やグリア細胞を含めた神経ネットワーク構築の異常の有無を検討します。主として色素染色、目標蛋白の抗体を用いた免疫組織化学を用いた形態学的研究です。単独では染色法・解析法など技術的に困難な場合があり他施設の共同研究体制をとっています。今後、学術的進歩によって検索すべきタンパクがあれば適時追加検討を加えたいと考えています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：病理解剖でえられた脳組織

情報：病歴 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

(研究責任者)

名古屋市昭和区鶴舞町65

名古屋大学大学院医学系研究科 精神医療学寄附講座教授 入谷修司

☎052-744-2282